

化学物質の適正管理とVOC対策

PRTR法を遵守し化学物質の適正管理・削減に向けて一層の努力を重ねてまいります。

化学物質の適正管理とVOC対策

1997年PRTR法(化学物質排出把握管理促進法)が制定され、ケイミューでは同法の対象となるVOC(揮発性有機化合物)の大気排出量を前年比2%削減することを目標に掲げ取り組んできました。

2020年度の実績は、11.3%の削減となり目標を大きく上回りました。主な削減要因は、生産量の減少、一部商品を溶剤レス配合に切り替えたことによる削減、溶剤塗料の揮発

を抑制するために既存設備の形状を変更したことなどによります。

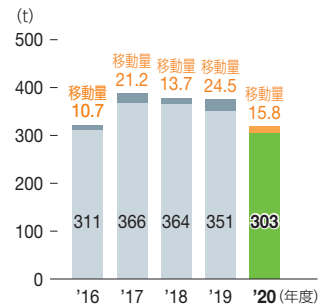
また、移動量は、15.8トンとなり前年より35.4%減少しました。

一方、原単位の悪化に伴う要因として脱臭炉の性能低下によるVOCの回収率の低下、溶剤を多く使用する製品比率の増加などがあり、今後も注視していく必要があると考えます。

■ 排出・移動量の集計結果(2020年度)

政令No.	物質名	排出量 (t)				移動量 (t)	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
53	エチルベンゼン	26.3	0	0	0	0	4.3
71	塩化第二鉄	0.0	0	0	0	0	0
80	キシレン	76.6	0	0	0	0	6.9
240	スチレン	0.0	0	0	0	0	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	3.4	0	0	0	0	0
300	トルエン	196.6	0	0	0	0	4.6
400	ポリ(オキシエチレン) ノニルフェニルエーテル	0.0	0	0	0	0	0
448	メチレンビス(4,1-フェニレン) =ジイソシアネート	0.0	0	0	0	0	0.004
合計		302.9	0	0	0	0	15.8

■ PRTR法対象物質の大気排出量・移動量の推移



■ 化学物質別排出・移動量の割合

